

統計的手法を生かして、 読書活動の充実を図る

さいたま市立城北小学校 教諭 酒井諒子

研究のねらい

- ブックリストを作る言語活動を通じ、自らの読書生活を豊かにするとともに、紹介する相手と本を読みたい気持ちを共有して読書の輪を広げる。
- 児童のおすすめの本をグラフにまとめ、読みとり、生かすなど、統計的手法を活用することで、絵本以外にも2年生に読めるおもしろい本があることに気付かせ、読書活動を豊かにする。

2年3組おすすすめブックリストを作ろう！！

☆1時間目☆

学校図書館司書の高柳先生に本の分類について教えてもらいました。



図書館の本にはね、本の種類が分かる秘密の番号がついているんだよ。3けたの一番左側の番号をみてごらん。

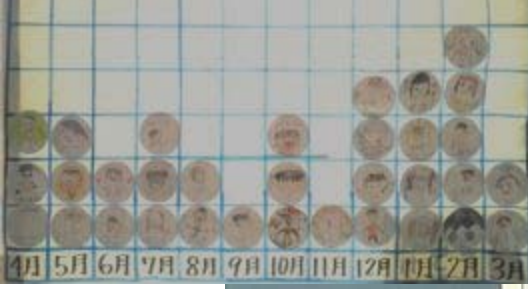
913

あ

☆2時間目☆ グラフにまとめ、読みとる(1回目)

ブックリストに載せたい本を一人ひとり持ちより、分類別にグラフにしました。このグラフから、自分たちの読書傾向を読み取ります。

算数の学習で作成したお誕生日グラフ



グラフを作る子どもたち



ブックリストを作るっ!!
ブックリストにのせる本のしゅ

絵本を読んでいる人がとても多い。19人もいるよ。

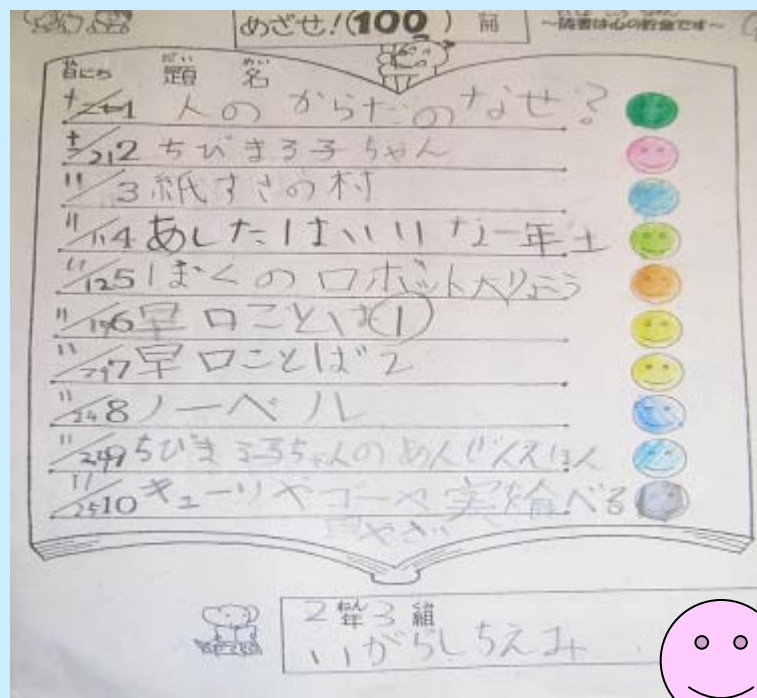
11種類のうち5種類しか読めていないな。

読んでいない種類の本がたくさんあるね。6種類あるよ。

- 0 全般 図書館
- 1 考え方 生き方
- 2 歴史 伝記 地理
- 3 社会
- 4 理科 算教
- 5 工業 技術 家庭科
- 6 産業
- 7 芸術 体育
- 8 ことば
- 9 文字 物語
- E 絵本



1回目のグラフから読みとったことを生かし、いろいろな分類の本を読む期間を設け、読書に取り組みました。



読書貯金のカードに、色を塗る箇所を作り、いろいろな分類の本を読んでいることが一目で分かるように、また、楽しく取り組めるように工夫しました。



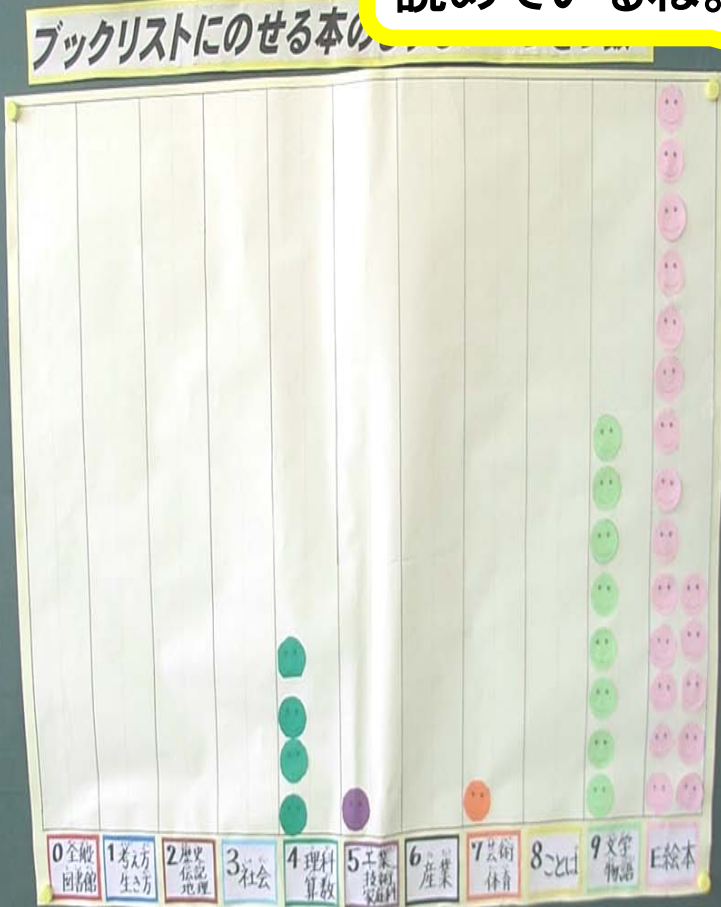
朝や帰りの時間に、絵本や物語以外の分類の本で、2年生でも楽しく読める本を紹介しました。

☆3時間目☆ グラフにまとめ、比較し、読みとる(2回目)

前回のグラフと今回作ったグラフを見比べ気付いたことを話し合いました。

いろいろな分類の本が読めているね。

絵本が19人から9人に減ったけど、やっぱり一番多い。



5種類しか読めていなかった本が9種類読めている。

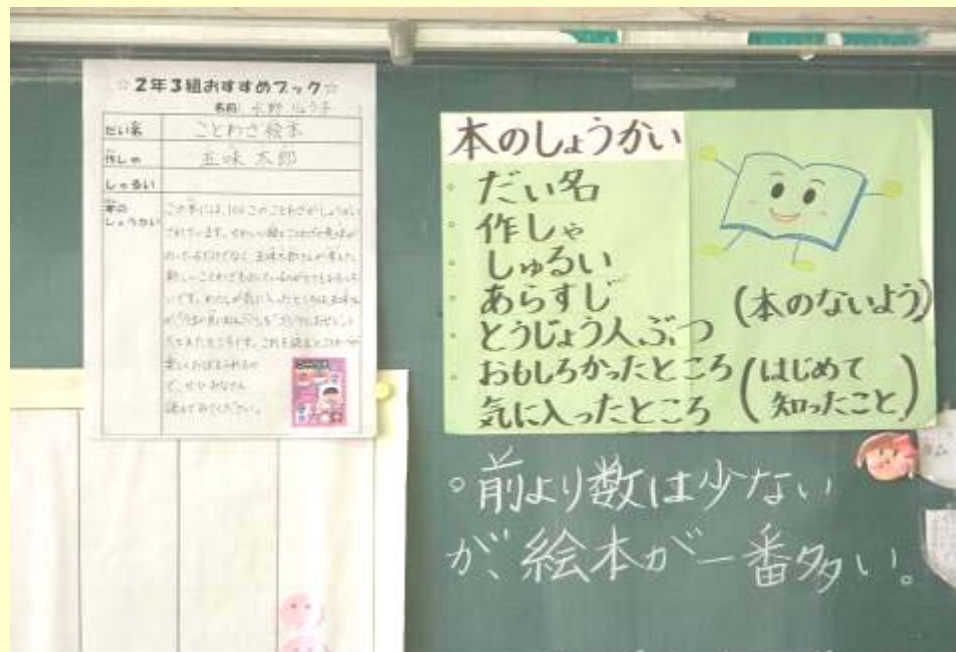
(本の紹介文の書き方)



☆読み手に分かりやすく本を紹介するために必要なことを、クイズ形式で確認しました。

☆本の紹介文には、今回初めて学習した本の分類番号を入れました。


☆絵本や物語以外の本で、本の紹介文を書いた経験が少ないため、ことわざの本について書いたモデル文を紹介しました。



今回はブックリストを使用した人が本を探しやすいように、子どもたちの絵ではなく本の表紙を写真に取り、載せることにしました。


☆2年3組おすすめブック☆
名前(かん野 あおい)

だい名	テストなんかこわくない
作しゃ	トレポー・ロメイン
しゅるい	る 社会
ほんのしょうかい	この本には、テスト・ストレスのこいけつしかたやテストで100点をとるためのテストのうけかたなど、テストのなやみをこいけつしてくれる本です。わたしが気に入ったところには、テストをうけるセンチメンタルで、うらいために、読んで見て下さい。



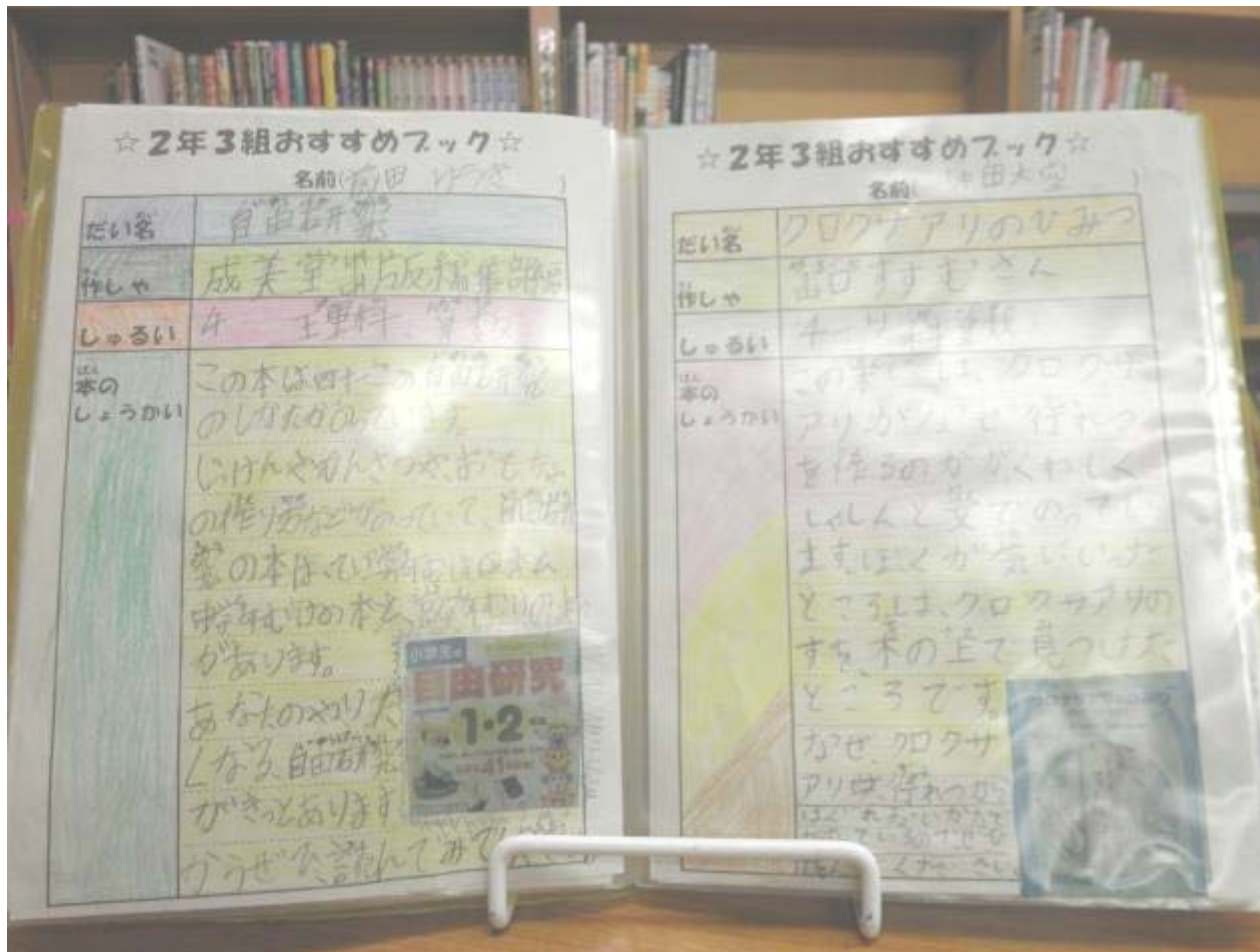
☆2年3組おすすめブック☆
名前(かなまき いろは)

だい名	こわごわこわごわ
作しゃ	田松 健英・文 たのしいしからず・絵
しゅるい	る 社会
ほんのしょうかい	この本は30しゅるいのこわごわめしています。シリーズは1しゅるいあります。おもしろいところは、こわごわがまがにならているところ。わたしが気に入ったところには、おもしろい願もこぼして、うごかして、こわごわこわごわ、かたがた、うらいために、読んで見て下さい。



ブックリスト完成！！

できあがったブックリストは、ほんのみに置いてもらいました。



成果と課題

成果(○)

統計的手法を生かしたことで次のような成果が得られた。

- おすすめの本を分類ごとに分けグラフにしたことで、自分たちの読書傾向が一目で分かった。
- 本の分類を指導したことで、分類を意識しながら図書室を利用するようになった。
- 普段手にとることのない本にも目を向けるよい機会となった。
- 絵本以外にも2年生が楽しく読むことのできる本がたくさんあることを知り、読書の幅を広げることができた。

課題(▲)

- ▲ブックリストを作った後に、ブックリストを使った人に感想を書いてもらうなど読み手と交流し、そこから次の活動に発展させられるとよかった。